

みなさん、こんにちは。日本語で話すのは、楽しいですね。

でも、会話が続かないと困ることはありませんか。少し難しいと感じますね。

今日は会話が続くコツをお話していきます。まずは、簡単なことから始めましょう。

1. あいづちで聞く力

まず、あいづちです。あいづちを知っていますか。とても大切な言葉ですよ。

相手の話を聞いている時に使う、短い返事のことです。「はい」や「うん」などです。

あいづちを使うと、相手は安心して話ができます。もっと話したくなります。

一番丁寧なあいづちは、「はい」という言葉です。仕事の時にも使います。

「ええ」も丁寧な言葉です。「はい」より少しだけ柔らかい感じがしますね。

友達と話す時には、「うん」を使うことが多いです。とても自然に聞こえます。

相手や場所によって、言葉を選ぶことが大切です。使い分けを覚えましょう。

あいづちには他にもたくさんの種類があります。気持ちを伝える言葉です。

例えば、驚いた時には「へえ」と言ってみましょう。とても面白い反応ですよ。

もっと丁寧に言いたい時は、「そうなんですか」と言います。相手を大切に思う気持ちです。

話の内容を理解したら、「なるほど」と言います。あなたが納得した合図です。

相手の意見に賛成の時は「そうですね」が便利です。優しい気持ちが伝わります。

「わかります」という言葉もよく使うあいづちの一つです。相手の気持ちに近くなります。

これらのあいづちを使うと、会話がもっと豊かになります。ぜひ覚えてくださいね。

あいづちを言う時にはタイミングも重要になります。いつ言えばいいでしょうか。

相手が話している途中はあいづちを言いません。話の邪魔になりますからね。

相手の話が一段落したら、あいづちを言うのに良い時です。間ができたのを待ちます。

また、相手があなたに質問をした後にも言います。返事をする前に使えますよ。

あいづちは多すぎても少なすぎてもいけません。ちょうど良い回数があります。

あまりにあいづちが多いと、相手は話しにくいです。急いでいる感じがします。

逆にあいづちが少ないと、話を聞いていないようです。相手は不安になります。

初めは少し難しいですが、練習すれば上手になります。自信を持って使いましょう。

あいづちを上手に使うと良いことがたくさんあります。聞き上手になる最初のステップです。

あなたは相手に、話をしっかり聞いていると伝えます。信じてもらえるようになります。

相手はあなたともっと話したいと思うようになります。良い関係が作れますよ。

あいづちの練習方法はとても簡単です。日本のドラマやニュースを見ましょう。

ドラマやニュースの中で、人々がどう話すか見ます。あいづちのタイミングが分かります。

そして、短い会話から実際に使ってみてください。友達との会話で試せます。

最初は少しだけ意識して使ってみましょう。だんだん自然になります。

あいづちは、ただの返事ではありません。会話を助ける大切な道具です。

相手への思いやりを示すこともできるのです。日本語の美しい部分ですね。

相手が気持ちよく話せる環境をあなたが作ります。会話がもっと楽しくなります。

ここまで、あいづちについて色々なことを見ました。たくさんの種類がありましたね。

基本の「はい」や「うん」から気持ちを表す言葉まで場面で選ぶことが大切です。

正しいタイミングで使って会話をもっと弾ませましょう。きっと日本語が上手になります。

2. 質問で広がる会話

あいづちが上手になったら次は質問をしてみましょう。会話をもっと広がりますよ。

質問は、相手への「もっと知りたい」という合図です。あなたが興味を持つと伝わります。

まず、簡単な質問から練習するのがおすすめです。はい、いいえで答える質問です。

例えば、「映画は好きですか」と聞いてみましょう。相手はすぐに答えられます。

「はい、好きです」と相手が答えたらチャンスです。次の質問につなげましょう。

ここからが大切な点です。会話を広げる質問をします。「どんな映画が好きですか」

このような質問をされると相手はもっと話せます。自分の好きなことを話せるからです。

会話を広げる質問にはいくつかの種類があります。便利な言葉を覚えましょう。

「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「どうして」です。これらは魔法の言葉ですよ。

例えば、相手が「昨日、映画を見ました」と言います。どんな質問ができますか。

「どこで見ましたか」や「だれと見ましたか」と聞けます。話がどんどん詳しくなります。

「どんな話でしたか」と内容を聞くのも良いですね。相手は感想を話してくれます。

「どうしてその映画を見ようと思いましたか」理由を聞くのも面白いです。

このように質問を使うと一つ的话题からたくさんのお話を引き出すことができます。

でも、質問をする時には少し注意も必要になります。相手を困らせてはいけません。

質問ばかりするのはあまり良くないです。相手は疲れてしまいます。

会話は言葉のボール遊びです。あなたが質問を投げたら相手は答えを返します。

今度は相手があなたに質問を投げる番です。お互いに投げ合いましょう。

あなたが質問をして相手が答えてくれたら次はあなたの話をします。

「私はこの俳優が好きです」「だからこの映画を見ました」自分の情報も伝えましょう。

自分の話を少しすると相手も安心できます。あなたへの質問がしやすくなります。

また、聞いてはいけない質問もあります。人に話さない個人的なことです。

例えば、年齢や給料などとても個人的なことです。相手が言いたくないかもしれません。

家族のことや、恋人のことなども、とても個人的です。初対面の人には聞きません。

相手の表情をよく見て嫌な顔をしていないか確認することも大事です。

もし、相手が答えに困っているように見えたらすぐに話題を変えましょう。

「ところで、今日の昼ご飯は何を食べましたか」軽い話題に変えると良いです。

質問は、相手との距離を縮める良い方法です。でも、使い方を間違えません。

相手を大切に思う気持ちを忘れないでください。それが一番大切です。

質問に上手に答えるのも会話が続くコツです。少し工夫をしてみましょう。

誰かに「休みの日は何をしていますか」と聞かれたと想像します。

ただ「寝ています」と答えるだけでは話はそこで終わってしまいます。

「よく寝ています。でも、時々、公園を散歩します」少し情報を加えて話します。

そして、最後にあなたから相手に質問を返します。「〇〇さんは何をしますか」
こうすることで、相手も自分の話ができます。会話のボール遊びが続きます。

質問を考える練習もしておくといいです。色々な場面を考えます。

例えば、パーティーで初めて会った人と何を話すか考えましょう。

「どこから来ましたか」「日本語はどのくらい勉強していますか」などです。

「日本の食べ物で何が一番好きですか」という質問も良いですね。

たくさんの質問の例を知っていると、心に余裕ができて話せます。

質問は、会話の扉を開ける鍵のようなものです。上手に使ってください。

相手の世界を少しだけ見せてもらうことができます。新しい発見があるでしょう。

あいづちで、相手が話をしやすくしてあげます。そして、質問で世界を広げます。

この二つができるだけで、あなたの日本語での会話はもっと上手になりますよ。

難しく考えすぎないでまずは一つ、質問をしてみることから始めます。

きっと、相手も喜んであなたの質問に答えます。会話を楽しんでくださいね。

3. 上手な自分の話し方

あいづちと質問は相手の話を聞く技術です。今度はあなたの番ですよ。

自分のことを上手に話すと会話はもっと楽しくなります。どうすれば良いでしょうか。

まず、分かりやすく話すことが大切です。短い文で話しましょう。

一つの文には、一つの情報だけを入れるように意識してみてください。

例えば、「昨日私は友達と新宿へ映画を見に行きました」これは少し長い文です。

「昨日、友達と会いました」「新宿で映画を見ました」二つに分けると分かりやすいです。

話す時も、少しだけ間を取ると良いです。相手が理解しやすくなります。

焦らないで、ゆっくりと話すことを心がけましょう。落ち着いて見えますよ。

次に、詳しい話をするのがポイントです。話が面白くなります。

例えば、「面白い映画でした」とだけ言うのではなくてもう少し詳しく話します。

「俳優がとても格好良かったです」「話の最後で驚きました」何が面白かったか伝えます。

詳しい感想を言うと相手も興味を持ちます。「どんな俳優ですか」と聞けます。

自分の気持ちや考えを言葉にする練習をします。日記を書くのも良い方法です。

今日あったことや感じたことを短い文で書く練習をしてみましょう。

声に出して話すことももちろん大切になります。自分の声を聞いてみます。

自分の話している声を録音して聞いてみると色々な発見がありますよ。

話す速さはどうですか。声の大きさは適切ですか。自分で確認ができます。

少し恥ずかしいですがとても良い練習方法です。ぜひ試してみてください。

また、話す時の表情もあなたの言葉をより伝えます。鏡を見て話してみましょう。

笑顔で話していると楽しい気持ちが相手に自然と伝わっていくでしょう。

真剣な話をする時はもちろん真面目な顔です。表情も言葉の一部ですよ。

そして、自分の話ばかりしないことも重要です。相手が話す時間も作ります。

自分の話を少ししたら「あなたは怎么样了」と相手に話を振ってみます。

会話は一人でするものではありません。相手とのやりとりです。

相手が話している時はもちろん、あいづちを忘れずに打ちましょう。

自分の意見を言う時に少しだけ丁寧にする言葉を知っていると便利です。

「私は〇〇だと思います」「私の場合は〇〇です」このように話を始めます。

「〇〇です」と強く言うよりも柔らかくて、優しい感じがするでしょう。

もし相手と意見が違う時にも使えます。「そういう考えもありますね」

「でも、私はこう思います」と、自分の意見を静かに伝えることができます。

自分の話をするのは少し勇気がいることです。間違えたらどうしよう、と思います。

でも、心配しないでください。日本語を学ぶ外国人が間違えるのは当然です。

完璧な日本語を話すことよりも、伝えたいという気持ちがずっと大切です。

一生懸命に話せばその気持ちは相手に必ず届くものですよ。

自分の好きなことや楽しいと感じることを話の話題に選びましょう。

好きなことについてならきっと、たくさんの言葉が自然に出てくるはずです。

あなたの国の文化や食べ物の話も良いですね。日本人は興味があります。

お互いの国の違いを話すのも面白いです。新しい発見があります。

自分の話ができると自信がついてきます。日本語がもっと好きになります。

聞き上手になることと話し上手になること。この二つは車の両輪です。

どちらか一つだけでは会話はうまく進みません。両方のバランスが大切です。

たくさん聞いて、そして少しだけ自分の話をする。そこから始めてみましょう。

あいづち、質問、そして上手な自分の話し方。三つの技術を学びましたね。

これらを意識するだけであなたの会話は変わります。ぜひ、明日から使ってください。

4. 見つけよう共通の話題

話す技術の次は何を話すか考えます。話題を見つける方法です。

相手と自分に共通の話題があると、会話はもっと盛り上がります。

二人の間に橋がかかるような感じです。心の距離が近くなります。

でも、初めて会う人と共通の話題を見つけるのは少し難しいですね。

焦らないで大丈夫です。簡単なことから一緒に見ていきましょう。

まずは、二人がいるその場の状況に注目します。天気の話はとても便利です。

「今日は良い天気ですね」「雨が降りそうですね」誰にでも話せる話題です。

天気の話は、会話を始めるためのあいさつです。ここから話を広げます。

「こんな天気の日はどこかへ行きたくなります」自分の気持ちを伝えます。

「雨の日は、家で映画を見るのが好きです」自分の趣味につなげます。

相手の持ち物や服装を見て話すのも良い方法です。褒める言葉から始めます。

「その時計、素敵ですね」「どこで買ったのですか」自然な質問ができます。

相手はきっと喜びます。自分の好きなもののお話は誰でもうれしいですからね。

食べ物の話もとても良い共通の話題です。嫌いな人はあまりいません。

「日本の食べ物では何が一番好きですか」よくある質問ですが良い質問です。

お互いの国の料理の話をすることもできます。文化の紹介になります。

「あなたの国では朝ごはんは何を食べますか」想像すると楽しいですね。

趣味の話も、会話がとても広がりやすいです。相手の好きなことを聞きます。

「休みの日は何をしますか」という質問から相手の趣味が分かります。

もし、あなたと同じ趣味だったら素晴らしいです。話すことがたくさんあります。

「私もサッカーが好きです」「どのチームを応援しますか」話がどんどん弾みます。

もし、趣味が違っててもがっかりしないでください。新しいことを知る良い機会です。

「テニスはしたことがないです」「どんなところが面白いですか」興味を持って質問します。

相手は喜んであなたに趣味の魅力を教えます。あなたも詳しくなります。

出身地の話もお互いを理解するためにとっても良い話題ですよ。

「私は〇〇から来ました」と、まず自分のことを話してから質問します。

「〇〇さんの国ではどんな場所が有名ですか」旅行の話にもなりますね。

共通の話題が見つかったら「私もです」と言いましょう。とても大切な言葉です。

この一言で、相手はあなたに親しい気持ちを持ちます。仲間だと感じるのです。

そして、今日学んだ質問の技術を使います。もっと詳しく聞きましょう。

相手から聞くだけでなく、あなたの話もしてください。経験や気持ちを伝えます。

共通の話題を見つけるのは宝探しに似ています。色々な質問をしてみます。

ただし、避けたほうが良い話題も存在します。難しい話はしません。

例えば、政治の話や宗教の話などです。人の考えは様々ですから。

相手の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないように気をつけます。

もし、相手が話したくない様子を見せたと感じたら、すぐに話題を変えましょう。

相手への思いやりが、楽しい会話を作ります。一番忘れてはいけないことです。

色々な話題の引き出しを持っていると安心です。会話に困ることが減ります。

天気、食べ物、趣味、スポーツ、旅行、音楽。たくさん準備しておきましょう。

共通の話題探しは相手を知るための旅です。楽しむ気持ちが大切です。

あなたと相手の間に一つでも共通点が見つかりると会話は魔法のように変わります。

難しく考えすぎないで身の回りのことから話の種を探しましょう。

5. 気持ちを伝える言葉

最後のコツは、あなたの気持ちを言葉にすることです。会話に心が通います。

会話は、ただの情報のやりとりではありません。気持ちを共有するものです。

うれしい時や、感謝したい時、素直に気持ちを伝えると相手との関係が深まります。

まず、一番大切な言葉は「ありがとう」です。感謝の気持ちを伝えます。

何かをしてもらった時は必ず言うようにしましょう。笑顔で言うと、もっと良いです。

もっと丁寧に言いたい時は「ありがとうございます」です。目上の人にも使えます。

何に感謝しているのか詳しく言うと、気持ちがもっとはっきりと伝わります。

「道案内をありがとう」「日本語を教えてくれて本当にありがとうございます」

次に、うれしい気持ちを伝える言葉を見てみましょう。「うれしい」と素直に言います。

プレゼントをもらった時や褒められた時に使います。心からの言葉が響きます。

「このプレゼント、とてもうれしいです」と、相手の目を見て言いましょう。

「楽しい」という言葉も会話を明るくします。一緒にいる時間を喜びます。

「あなたと話していると本当に楽しい時間です」言われた相手もうれしいです。

時には、謝ることも必要になる場面があります。「ごめんなさい」と言います。

自分が悪いと思った時はすぐに謝ることが大切です。正直な気持ちを伝えます。

「すみません」という言葉は、とても便利な言葉です。色々な意味があります。

謝る時にも使いますが、人に感謝する時にも使います。少し驚くかもしれません。

プレゼントをもらった時に「すみません」と言う人がいます。感謝と、申し訳ない気持ちです。

また、お店で人を呼ぶ時「すみません」と言います。英語の Excuse me と似ています。

相手を褒める言葉も会話を豊かにしてくれます。「すごい」や「上手」です。

相手の良いところを見つけたら、恥ずかしがらないで言葉にして伝えてください。

「日本語がとても上手ですね」「その写真は、すごいですね」と、詳しく褒めると良いです。

相手の話に関心を合わせるのも良い方法です。相手の心に寄り添います。

相手が大変な時には、「それは大変ですね」と気持ちを分かち合います。

相手の意見を聞いた後に「よく分かります」と言うと相手は安心できるでしょう。

言葉だけではなく、表情や声の調子も気持ちを伝えるのを助けます。

うれしい時は、明るい声で笑顔で話しましょう。気持ちがもっと伝わります。

感謝する時や謝る時は、少し頭を下げると丁寧な気持ちが示せます。

これらの気持ちを伝える言葉は、会話をとてもスムーズにします。だから、とても大切なのです。

あなたの会話を温かく人間らしいものに変えます。勇気を出して使いましょう。

今日、私たちは五つの会話が続くコツを見ました。たくさんありましたね。

あいづちで、聞く姿勢を見せ、質問で相手の世界を広げ、自分の話も上手にしました。

そして、共通の話題で相手との距離を縮めます。気持ちを伝えて心もつながります。

これらは技術ですが、それよりも一番大切なことがあります。それは、相手を知りたい気持ちです。

相手と話したい、仲良くなりたい、という心が言葉を温かくするので。

初めは、うまく話せないかもしれません。間違えることもあるでしょう。

でも、心配はいりません。失敗を恐れなくてください。たくさん話すことが一番の練習です。

今日学んだコツを一つでも明日からの会話でぜひ、使ってみてください。

あなたの日本語での会話がもっと楽しく、豊かになることを心から願っています。

お疲れ様でした。最後まで見てくれてありがとうございました。

今日の動画はいかがでしたか？動画の感想や意見をぜひコメントで教えてください。

また、たくさん動画を作れますので、グッドボタンとチャンネル登録、ハイプをよろしくお願いします。

それではまた別の動画でお会いしましょう。